

### CHECK 普及指導員はこう見てる

# 「出穂日」の見るときの基準



- ・「出穂」の定義→穂が少しでも出た時。
- ・「出穂日」→出穂した株が圃場全体の5割ある時。

「圃場で最初に穂が確認できた日」や「圃場全体の穂がすべて出きった日」ではありません。

出穂日が分かると収穫適期が予測できるので、気になる方は確認してみましょう。(収穫適期については次号で紹介します。)

## 高温登熟に注意！

気象庁から今夏は平年より高温になるとの予報が出ており、高温による品質低下（白未熟粒）が考えられます。

### <対策>

**ケイ酸加里散布**（出穂40～30日前や中干し前の資材が土中に染みこみやすい時に実施すると効果が高い）

**温度を下げる水管理**（出穂前後から4週間までが効果あり）  
→昼間の温かくなった水をためない。（夜間の保温のもと）  
→夕方以降に灌水を行い、地温を下げるよう管理する。  
（水に限りがある地域では無理のない範囲でお願いします）  
※かけ流しはしない

高温登熟以外にも、ウンカやカメムシが品質低下を招きます。適切に防除ができるよう、早めの本田防除の準備を！  
いもち病や稲こうじ病などにも十分注意して管理しましょう。

